

## 【自己評価結果について】

### ①共通評価基準

#### I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

|     |                         |        |                |
|-----|-------------------------|--------|----------------|
| (1) | 理念、基本方針が確立・周知されている。     | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ①   | 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | A      | HP・要覧に記載がある    |

##### I-2 経営状況の把握

|     |                                 |        |                      |
|-----|---------------------------------|--------|----------------------|
| (1) | 経営環境の変化等に対応している。                | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】       |
| ①   | 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | A      | 職員会議等で全体の動向についての話がある |
| ②   | 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。         | B      |                      |

##### I-3 事業計画の策定

|     |                                           |        |                         |
|-----|-------------------------------------------|--------|-------------------------|
| (1) | 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。                   | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】          |
| ①   | 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。               | B      | HPで確認できる                |
| ②   | 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                | B      | HPで確認できる                |
| (2) | 事業計画が適切に策定されている。                          | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】          |
| ①   | 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | B      | 会議の場で説明があるが、もう少し周知を図るべき |
| ②   | 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。                 | 8      | HPだけでは周知されているとは言えない     |

##### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

|     |                                             |        |                                 |
|-----|---------------------------------------------|--------|---------------------------------|
| (1) | 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。                  | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                  |
| ①   | 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。            | A      | 定期的に職員研修が実施されている。ホーム毎のケース検討会を実施 |
| ②   | 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | 8      | 課題の文書化まではされていない                 |

## Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

|                          |                                  |        |                           |
|--------------------------|----------------------------------|--------|---------------------------|
| (1) 施設長の責任が明確にされている。     |                                  | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①                        | 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | A      | 職員会議等で周知されている             |
| ②                        | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。     | A      | 全養協や県養協が主催する研修会・会議に出席している |
| (2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。 |                                  | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①                        | 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している  | A      | アイリスへのコメントがある。            |
| ②                        | 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。   | A      | 業務の見直しや環境整備が実施されている       |

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

|                                        |                                               |        |                              |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------|--------|------------------------------|
| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。      |                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】               |
| ①                                      | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し取組が実施されている        | B      | 確保・育成は積極的に行っている              |
| ②                                      | 総合的な人事管理が行われている。                              | B      | 人事考課チェックリストに基づき、面談を実施している    |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。                 |                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】               |
| ①                                      | 職員の就業状況や意向を把握し働きやすい職場づくりに取り組んでいる              | B      | 相談窓口はあるが、タイミングなどから相談しづらい時もある |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。             |                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】               |
| ①                                      | 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                       | B      | 職員ひとり一人の目標が設定されているかは不明       |
| ②                                      | 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され教育・研修が実施されている         | A      | 研修の希望は取られるが、どれくらい反映されているのか不明 |
| ③                                      | 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。                    | A      | 全職員に研修の機会がある                 |
| (4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 |                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】               |
| ①                                      | 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し積極的な取組をしている。 | B      | 実習生へのプログラムがないので職員によって対応に差がある |

## Ⅱ-3 運営の透明性の確保

|     |                                  |        |                |
|-----|----------------------------------|--------|----------------|
| (1) | 運営の透明性を確保するための取組が行われている。         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ①   | 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | A      | HP・要覧          |
| ②   | 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | A      | 熊本市の指導監査を受けている |

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

|     |                                        |        |                          |
|-----|----------------------------------------|--------|--------------------------|
| (1) | 地域との関係が適切に確保されている。                     | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ①   | 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。             | A      | 地域の行事への参加                |
| ②   | ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。     | B      |                          |
| (2) | 関係機関との連携が確保されている。                      | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ①   | 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | A      | 関係機関と定期的に連絡を取り情報を頂いている   |
| (3) | 地域の福祉向上のための取組を行っている。                   | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ①   | 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。            | A      |                          |
| ②   | 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。        | A      | ショートステイの受入。月に1回、町内サロンの実施 |

## Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

|     |                                                     |        |                           |
|-----|-----------------------------------------------------|--------|---------------------------|
| (1) | 子どもを尊重する姿勢が明示されている。                                 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①   | 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。            | A      | 研修の実施                     |
| ②   | 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。                      | A      |                           |
| (2) | 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。                  | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①   | 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。              | A      | 必要な情報はきちんと説明がなされている       |
| ②   | 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。               | A      | FSWが子どもの様子や学校行事等の連絡を行っている |
| ③   | 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 | A      | 退所後の相談方法として「きずなネット」を活用    |
| (3) | 子どもの満足の向上に努めている。                                    | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①   | 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。                    | A      | 苦情受付の設置。アドボケートの導入         |

|                                      |                                            |        |                               |
|--------------------------------------|--------------------------------------------|--------|-------------------------------|
| (4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。         |                                            | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                |
| ①                                    | 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                 | A      | 各ホームにポストを設置。アンケートの実施          |
| ②                                    | 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し子ども等に周知している           | B      | 日頃から職員が子どもの声を傾聴する関わりを心がけている   |
| ③                                    | 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。            | B      | マニュアルの改訂に時間がかかる               |
| (5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 |                                            | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                |
| ①                                    | 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されてい     | B      | ヒヤリハット・事故報告に基づいて検討している        |
| ②                                    | 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | A      | 看護師・栄養士が予防や対応のマニュアルを作成し対策している |
| ③                                    | 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。           | A      | 避難訓練を実施、実施後も反省会を行っている         |

## 2 養育・支援の質の確保

|                                 |                                           |        |                           |
|---------------------------------|-------------------------------------------|--------|---------------------------|
| (1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。      |                                           | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①                               | 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。     | A      | 定期的に周知があるが、職員のスキルアップが不十分  |
| ②                               | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。             | A      | 見直しは定期的にあるが、もっと子どもを巻き込むべき |
| (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。 |                                           | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①                               | アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。          | A      | 年度末に担当職員・専門職・施設長で話し合っている  |
| ②                               | 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。                  | A      | こどもの意向の把握が不十分に感じる         |
| (3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。      |                                           | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】            |
| ①                               | 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | A      | タブレットの活用                  |
| ②                               | 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                    | A      |                           |

## ② 内容評価基準

### A－1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

|     |                                                    |        |                     |
|-----|----------------------------------------------------|--------|---------------------|
| (1) | 子どもの権利擁護                                           | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】      |
| ①   | 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。                            | A      | 研修の実施。アドボケートの導入     |
| (2) | 権利について理解を促す取組                                      | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】      |
| ①   | 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。                 | A      |                     |
| (3) | 生い立ちを振り返る取組                                        | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】      |
| ①   | 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている                | A      |                     |
| (4) | 被措置児童等虐待の防止等                                       | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】      |
| ①   | 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。                   | A      | 子どもが声をあげられる環境がある    |
| (5) | 支援の継続性とアフターケア                                      | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】      |
| ①   | 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。      | A      | 一時保護の児童についても取り組んでいる |
| ②   | 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。 | A      |                     |

### A－2 養育・支援の質の確保

|     |                                                                   |        |                       |
|-----|-------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------|
| (1) | 養育・支援の基本                                                          | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】        |
| ①   | 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。                                | A      |                       |
| ②   | 基本的欲求の充足が子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している                     | A      | 職員と1体1で話ができる時間を設けている  |
| ③   | 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。       | A      | ケース検討会議の実施。家族会日       |
| ④   | 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。                                          | A      | ルール作りを子どもを巻き込んで策定している |
| ⑤   | 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。 | A      | ネットに関する支援がまだ少ない       |
| (2) | 食生活                                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】        |
| ①   | おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。                                        | A      | 誕生日にリクエストメニューがある      |
| (3) | 衣生活                                                               | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】        |
| ①   | 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。                 | A      | 子どもと一緒に衣類購入の機会がある     |

|                      |                                                         |        |                                     |
|----------------------|---------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------|
| (4) 住生活              |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。  | A      |                                     |
| (5) 健康と安全            |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。 | A      | 看護師の管理のもと服薬指導がある                    |
| (6) 性に関する教育          |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。 | B      | 子どもへの性教育を充実させるべき。個別での性教育が必要         |
| (7) 行動上の問題及び問題状況への対応 |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。                    | B      | 担当ホームだけでなく、施設全体で取り組んでいる             |
| ②                    | 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。                | A      | その都度所管の児童相談所に連絡・相談している              |
| (8) 心理的ケア            |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。                           | B      | 心理士と連携している。心療内科の利用                  |
| (9) 学習・進学支援、進路支援等    |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。                           | A      | 学習塾・公文・学習ボランティアの利用                  |
| ②                    | 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。                        | A      | 子どもの意見を尊重し、自己決定ができるよう努めている          |
| ③                    | 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。                | B      | 職業体験イベントへの参加                        |
| (10) 施設と家族との信頼関係づくり  |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。               | A      | 家族が相談しやすい環境を整えている                   |
| (11) 親子関係の再構築支援      |                                                         | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】                      |
| ①                    | 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。                        | A      | FSWのタブレット記録により、重要な情報をホーム職員も知ることができる |